

ご挨拶

財団法人愛媛県体育協会会長 大 亀 孝 裕

「春風や まりを投げたき 草の原」の句碑が東京上野公園の野球場にあります。ご存じのとおり正岡子規の句ですが、子規は野球が好きで、上野公園でよく野球をしておりました。子規の随筆「筆まかせ」に、明治二十三年三月二十一日午後、上野公園博物館横空地で野球の試合をしたことが記されております。そこで、平成十八年七月上野恩賜公園開園式典百三十周年記念に際し野球場に句碑を建立して「正岡子規記念球場」としたとのことです。

愛媛県体育協会では、子規の野球殿堂入りを記念して、平成十四年に「えひめスポーツ俳句大賞」を創設いたしました。このスポーツ俳句大賞は、スポーツに接して得られる感動やときめき、そして共感を俳句に詠み込むことにより、スポーツへの関心をもっていたべくともにもスポーツ俳句の普及を狙いとするものであります。全国各地で各種団体・機関が俳句の募集を行っておりますが、スポーツと俳句を融合させた「えひめスポーツ俳句大賞」は他に例のない個性的な新しいスポーツ芸術であります。

スポーツ俳句大賞も回を重ね七回目を迎えました。これもひとえにご協賛いただきました企業をはじめ、関係の皆様方の温かいご支援ご協力の賜物であり、改めて心より厚くお礼を申し上げます。

現在、報道関係社からは報道賞を贈呈していただき、道後の有名旅館からは副賞として一泊ペア宿泊券を、また、松山の名菓舗からは銘菓のご提供をいただいております。皆様方のご厚情に対し重ねて感謝申し上げますとともに、今後ともさらに各方面からご意見をお聞きして内容の充実に努めて参る所存であります。

毎回のことでありますが「第七回えひめスポーツ俳句大賞」に投句されました作品はいずれも優れており、審査委員の先生方のご苦勞が窺えます。そういった中で、見事、賞に輝かれました皆様方に心から敬意を表し、お祝い申し上げます。そして今後、全国のスポーツファンの皆様にはスポーツ俳句に関心を寄せていただき、俳句並びに写真愛好者の皆様には各種スポーツ現場に足を運ばれて「えひめスポーツ俳句大賞」への積極的な投句をお願いいたしましてご挨拶いたします。